

第3回 豊島区教育ビジョン検討委員会

日時：平成30年11月9日（金） 午後1時15分～
場所：豊島区役所 教育委員会室（本庁舎8階）

【 次 第 】

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 次期計画の体系骨子案等について
 - (2) その他
- 3 閉 会

◆配布資料

資料1	関連計画等を踏まえた地域特性分析（SWOT分析）
資料2	豊島区の地域特性及び基礎調査を踏まえた豊島区教育ビジョンの重点課題
資料3	豊島区教育ビジョンの体系（案）（現行ビジョンとの対比版）
資料4	豊島区教育ビジョンの体系（案）（新ビジョンの事業例示版）
参考資料1	「豊島区教育ビジョン」の目次（案）
参考資料2	「教育都市としま」 13の挑戦
別添資料	「豊島区教育ビジョン2015 豊島区教育振興基本計画」 策定に係るアンケート調査 調査結果報告書（案）

≪連絡事項≫

■次回以降の日程確認について

第4回検討委員会開催日

平成30年12月20日（木）午後2時～午後3時30分

第5回検討委員会開催日

平成31年2月6日（水）午前9時30分～午前11時30分

【事務局連絡先】

豊島区教育部庶務課 担当：木本・荒木田

電話：03-3981-1571

メール：A0024004@city.toshima.lg.jp

関連計画等を踏まえた地域特性分析（SWOT分析）

第3期教育振興基本計画 (平成30～34年度)	アンケート調査結果、統計データ等（バックデータ）からの現状	国等の動向、地域の特性								
<p>○今後の教育政策に関する基本的な方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する 生涯学び、活躍できる環境を整える 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する 教育政策推進のための基盤を整備する 	<p>○区長施政方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領への対応準備 文部科学省が示すICT環境の整備方針に基づき、児童生徒一人1台を目指し、タブレットパソコンの増台 小学校5年生から「英語教育」が強化として位置付けられる中で、平成31年度から、ALTの時間数の増を図り、教科となる英語教育への準備を進めていく 新学習指導要領の実施に合わせ、さらに教員が本来業務に集中できるように、様々な視点から業務のあり方を見直し、支援策を検討 <p>○としま政策データブック 2018(H30.9発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊島区の平成30年1月現在の人口は287,111人（対前年比1.0%増加、年々増加傾向） 0～14歳人口25,229人（対前年比1.5%増）（8.79%） 15～64歳人口204,284人（対前年比1.1%増）（71.15%） 65歳以上人口57,598人（対前年比0.2%増）（20.06%） 平成30年1月現在の外国人人口は29,010人（対前年比7.2%増加、年々増加傾向、外国人人口の割合10.10%、新宿区に次ぎ特別区内で2番目） 0～18歳人口29,781人（日本人）、1,986人（外国人） ひとり親世帯は平成27年で母子世帯1,106、父子世帯100の計1,206世帯と微増傾向 地域活動への参加意欲は79.2%と増加傾向（出展：わくわくお洒落変身講座アンケート） 地域区民ひろばの子育て世代を含む年齢層の登録率は、平成29年度4.4%と増加傾向（地域区民ひろば課） 子どもスキップの利用状況は平成29年度で541,511人と年々増加（一般利用は減少・学童クラブは増加） 中高生センターの利用者数は、中学生で16,048人、高校生で15,304人（平成29年度）と減少傾向 中高生センタージャンプ利用者の地域活動参加人数は平成29年度で819人と増加傾向 子ども支援サポーター登録人数は平成29年度で13人と増加傾向 子ども講座延べ受講者数は平成29年度で131人と減少傾向 子育て等に関する相談事業実績及びゆりかご・としま事業の利用者は増加傾向 認可保育所の入所児童数は年々増加し平成30年度で5,230人 待機児童数は平成25年度で270人だったものが、年々減少し、平成29年度及び平成30年度は0人 区立小学校児童数は年々増加し、平成30年度で8,351人 区立小学校学級数は年々増加し、平成30年度で288学級 区立中学校生徒数は減少傾向にあり、平成30年度で2,439人 区立中学校学級数は減少傾向にあり、平成30年度で74学級 小学校6年生の学力達成率（5教科平均）は平成29年度で87.5%と平成26年度と比べ18.7ポイント増加 中学校3年生の学力達成率（5教科平均）は平成29年度で82.2%と平成26年度と比べ16.0ポイント増加 読書が好きな児童・生徒の割合は、区立小学校・区立中学校ともに増加減少を繰り返し、平成29年度で6割～7割 不登校児童の出現率は平成28年度で0.32%と前年度と比較してやや減少しているものの平成24年度比較で増加 不登校生徒の出現率は平成28年度で2.67%と前年度と比較して減少しているものの平成24年度比較で増加 体力・運動能力調査体力合計点について、小学校6年生は、29年度は前年比で男子、女子共に上昇した。中学校3年生は、29年度は前年比で男子は上昇し、女子は増減なし。 区立小・中学校の蔵所数は年々増加し平成29年度で284,125冊 「学校の授業はよくわかる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（平成29年度）（小学校6年生：93.6%・中学校3年生：88.8%）となっており、前年に比べ小学校6年生では2.0ポイント増加、中学校3年生では1.5ポイント増加 「困った時に相談できる先生がいる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（平成29年度）（小学校6年生：74.6%・中学校3年生：63.8%）となっており、前年に比べ小学校6年生では0.3ポイント増加、中学校3年生では2.8ポイント減少 スクールソーシャルワーカーの申請件数は年々増加し、平成29年度で88件。支援を行った88件のうち57件で問題の解消又は改善が見られ、不登校問題を含めた全支援ケースにおける解消・改善率は65%となった。 水曜トライアルスクールの年間実施時間は5～600時間前後で推移し、平成29年度は前年度横ばいであった。参加率は平成25年度以降ほぼ20%前後で推移していたが、平成29年度は16%に下落している タブレットPCなどICTを活用した授業について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（平成29年度）（小学校6年生：79.2%・中学校3年生：69.4%）となっており、前年に比べ小学校6年生では2.8ポイント増加、中学校3年生では0.2ポイント減少 中央図書館利用者数は近年減少傾向となっていたが、平成28年度から増加に転じ、平成29年度には907,301人と、ここ5年間で最高値となった 区民一人あたり蔵所数も利用者数と同様の動きを示し、平成29年度で2.76冊とここ2年増加傾向にある 図書館の利用登録者、登録者中に占める豊島区民の割合ともに減少傾向であったが、平成29年度は増加に転じている としまコミュニティ大学講座開催数は平成29年度で101件、としまコミュニティ大学受講者数は平成29年度で3,768人と前年比で減少した 読み聞かせボランティアおはなし会実施回数及び参加者数は年々増加 <p>○東京都特別支援教育推進計画（第二期）・第一次実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 都特別支援学校の在籍者は平成28年度現在で12,372人となっており、都の推計によると、平成40年度には15,204人と約1.2倍増加することが予測される 	<p>国等の動向、地域の特性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1952 212 2389 289">国等の動向社会的背景 (機会) (O)</th> <th data-bbox="2389 212 2822 289">社会的な問題 (脅威) (T)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1952 289 2389 604"> <ul style="list-style-type: none"> 新しい時代にふさわしい教育の一体的改革 学習指導要領の一部改正 ICTを活用した教育の推進 イノベーション創出、グローバル化を担う人材育成 持続可能な開発のための教育（ED）の取組 様々な挑戦を可能とする環境の整備 小中一貫教育をはじめとした学制改革 幼児教育の無償化に向けた段階的取組など、家庭の教育費負担軽減 教員の働き方改革 貧困の連鎖を断つための教育機会の確保 地方創生と地域における多様な人材の参画 学びの場を拠点とした地域の活性化 学校を核とした地域との連携・協働による取組 </td> <td data-bbox="2389 289 2822 604"> <ul style="list-style-type: none"> 少子化・高齢化による社会活力の低下 厳しさを増す経済環境と知識基盤社会への移行 雇用環境の変容 社会のつながりの希薄化など 格差の再生産・固定化 地球規模の課題への対応 <p>※上記の危機を放置すれば、人口減少、経済成長力の低下、財政の悪化、雇用不安や格差拡大による社会の不安定化、社会保障への悪影響など負の連鎖が加速し、早晚我が国社会が衰退の一途をたどることは免れない。</p> </td> </tr> <tr> <th data-bbox="1952 604 2389 682">充実していることや方針 (強み) (S)</th> <th data-bbox="2389 604 2822 682">不足または問題となっていること (弱み) (W)</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1952 682 2389 1913"> <ul style="list-style-type: none"> 豊島区の平成29年1月現在の人口は284,307人（対前年比1.3%増加、年々増加傾向）（データブック） 0～14歳人口24,855人（対前年比2.3%増）（8.74%）（データブック） 平成29年1月現在の外国人人口は27,060人（対前年比10.3%増加、年々増加傾向、外国人人口の割合9.52%、新宿区に次いで特別区内で2番目）（データブック） 地域区民ひろばの子育て世代を含む年齢層の登録率は4.2%と増加傾向（地域区民ひろば課）（データブック） 子どもスキップの利用状況は平成28年度で536,124人と年々増加（一般利用・学童クラブともに増加）（データブック） 子育て等に関する相談事業実績及びゆりかご・としま事業の利用者は増加傾向（データブック） 待機児童数は平成25年度で270人だったものが、年々減少し、平成29年度で0人（データブック） 小学校6年生の学力達成率（4教科平均）は平成28年度で86.5%と平成26年度と比べ17.7ポイント増加（データブック） 中学校3年生の学力達成率（5教科平均）は平成28年度で80.2%と平成26年度と比べ14.0ポイント増加（データブック） 読書が好きな児童・生徒の割合は、区立小学校・区立中学校ともに増加傾向となっており、約8割（データブック） 区立小・中学校の蔵所数は年々増加し平成28年度で271,949冊（データブック） としまコミュニティ大学受講者数は平成28年度で4,169人と増加傾向（データブック） 読み聞かせボランティアおはなし会実施回数及び参加者数は年々増加（データブック） 公立特別支援学校の在籍者は平成28年度現在で12,372人となっており、都の推計によると、平成40年度には15,204人と約1.2倍増加することが予測される（データブック） お子様の小学校での教育について「豊かな心や人間性」に重点を置いてほしいが約4割と最も高い（幼保護者アンケート） 今後の教育政策で重点的に取り組むべきことについて「話せる・使える英語のコミュニケーション能力を育成する」が5割半ばと最も高い（幼保護者アンケート） 学校と地域の連携について小学生・中学生ともに「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」が5割半ばと最も高い（小中保護者アンケート） 子どもスキップの「満足」と「やや満足」をあわせた「満足」は約8割（小学生）（小中保護者アンケート） 子ども・保護者・地域が集う学校」を実現できていると思うかについて「実現できている」と「だいたい実現できている」をあわせた「実現できている」が8割半ば（教員アンケート） 地域と連携した教育活動が盛んかについて「盛んである」と「どちらかと言えば盛んである」が8割半ば（教員アンケート） </td> <td data-bbox="2389 682 2822 1913"> <ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯は平成27年で母子世帯1,106、父子世帯100の計1,206世帯と微増傾向（データブック） 地域活動への参加意欲は32.8%と減少傾向（平成28年度シニア変身講座アンケート）（データブック） 中高生センターの利用者数は、中学生で16,772人、高校生で14,929人（平成28年度）と減少傾向（データブック） 不登校児童の出現率は平成27年度で0.35%と前年度と比較して増加（データブック） 不登校生徒の出現率は平成27年度で3.09%と前年度と比較して増加（データブック） 図書館の利用登録者、登録者中に占める豊島区民の割合ともに減少傾向（データブック） 現在の職務の状況について「常に忙しい」が6割半ばと最も高い（教員アンケート） 多忙感を感じる職務について「各種調査など事務関係の書類の処理」「校内分掌の事務」「会議の時間」の順に高くなっている（教員アンケート） 児童・生徒への「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標について「達成にはやや不十分であると感じる」の割合が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 子どもの話に耳と心を傾けることができているかについて「あまりできていない」と「できていない」をあわせた「できていない」が約1割（教員アンケート） 子どもたちに足りない道徳性について「希望や勇気をもち、困難や失敗を乗り越えること」の割合が約5割と最も高い（教員アンケート） 教員の研修で強化が必要だと思うことは「特別支援教育」が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 児童・生徒が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート） 保護者が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート） </td> </tr> </tbody> </table>	国等の動向社会的背景 (機会) (O)	社会的な問題 (脅威) (T)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代にふさわしい教育の一体的改革 学習指導要領の一部改正 ICTを活用した教育の推進 イノベーション創出、グローバル化を担う人材育成 持続可能な開発のための教育（ED）の取組 様々な挑戦を可能とする環境の整備 小中一貫教育をはじめとした学制改革 幼児教育の無償化に向けた段階的取組など、家庭の教育費負担軽減 教員の働き方改革 貧困の連鎖を断つための教育機会の確保 地方創生と地域における多様な人材の参画 学びの場を拠点とした地域の活性化 学校を核とした地域との連携・協働による取組 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化・高齢化による社会活力の低下 厳しさを増す経済環境と知識基盤社会への移行 雇用環境の変容 社会のつながりの希薄化など 格差の再生産・固定化 地球規模の課題への対応 <p>※上記の危機を放置すれば、人口減少、経済成長力の低下、財政の悪化、雇用不安や格差拡大による社会の不安定化、社会保障への悪影響など負の連鎖が加速し、早晚我が国社会が衰退の一途をたどることは免れない。</p>	充実していることや方針 (強み) (S)	不足または問題となっていること (弱み) (W)	<ul style="list-style-type: none"> 豊島区の平成29年1月現在の人口は284,307人（対前年比1.3%増加、年々増加傾向）（データブック） 0～14歳人口24,855人（対前年比2.3%増）（8.74%）（データブック） 平成29年1月現在の外国人人口は27,060人（対前年比10.3%増加、年々増加傾向、外国人人口の割合9.52%、新宿区に次いで特別区内で2番目）（データブック） 地域区民ひろばの子育て世代を含む年齢層の登録率は4.2%と増加傾向（地域区民ひろば課）（データブック） 子どもスキップの利用状況は平成28年度で536,124人と年々増加（一般利用・学童クラブともに増加）（データブック） 子育て等に関する相談事業実績及びゆりかご・としま事業の利用者は増加傾向（データブック） 待機児童数は平成25年度で270人だったものが、年々減少し、平成29年度で0人（データブック） 小学校6年生の学力達成率（4教科平均）は平成28年度で86.5%と平成26年度と比べ17.7ポイント増加（データブック） 中学校3年生の学力達成率（5教科平均）は平成28年度で80.2%と平成26年度と比べ14.0ポイント増加（データブック） 読書が好きな児童・生徒の割合は、区立小学校・区立中学校ともに増加傾向となっており、約8割（データブック） 区立小・中学校の蔵所数は年々増加し平成28年度で271,949冊（データブック） としまコミュニティ大学受講者数は平成28年度で4,169人と増加傾向（データブック） 読み聞かせボランティアおはなし会実施回数及び参加者数は年々増加（データブック） 公立特別支援学校の在籍者は平成28年度現在で12,372人となっており、都の推計によると、平成40年度には15,204人と約1.2倍増加することが予測される（データブック） お子様の小学校での教育について「豊かな心や人間性」に重点を置いてほしいが約4割と最も高い（幼保護者アンケート） 今後の教育政策で重点的に取り組むべきことについて「話せる・使える英語のコミュニケーション能力を育成する」が5割半ばと最も高い（幼保護者アンケート） 学校と地域の連携について小学生・中学生ともに「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」が5割半ばと最も高い（小中保護者アンケート） 子どもスキップの「満足」と「やや満足」をあわせた「満足」は約8割（小学生）（小中保護者アンケート） 子ども・保護者・地域が集う学校」を実現できていると思うかについて「実現できている」と「だいたい実現できている」をあわせた「実現できている」が8割半ば（教員アンケート） 地域と連携した教育活動が盛んかについて「盛んである」と「どちらかと言えば盛んである」が8割半ば（教員アンケート） 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯は平成27年で母子世帯1,106、父子世帯100の計1,206世帯と微増傾向（データブック） 地域活動への参加意欲は32.8%と減少傾向（平成28年度シニア変身講座アンケート）（データブック） 中高生センターの利用者数は、中学生で16,772人、高校生で14,929人（平成28年度）と減少傾向（データブック） 不登校児童の出現率は平成27年度で0.35%と前年度と比較して増加（データブック） 不登校生徒の出現率は平成27年度で3.09%と前年度と比較して増加（データブック） 図書館の利用登録者、登録者中に占める豊島区民の割合ともに減少傾向（データブック） 現在の職務の状況について「常に忙しい」が6割半ばと最も高い（教員アンケート） 多忙感を感じる職務について「各種調査など事務関係の書類の処理」「校内分掌の事務」「会議の時間」の順に高くなっている（教員アンケート） 児童・生徒への「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標について「達成にはやや不十分であると感じる」の割合が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 子どもの話に耳と心を傾けることができているかについて「あまりできていない」と「できていない」をあわせた「できていない」が約1割（教員アンケート） 子どもたちに足りない道徳性について「希望や勇気をもち、困難や失敗を乗り越えること」の割合が約5割と最も高い（教員アンケート） 教員の研修で強化が必要だと思うことは「特別支援教育」が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 児童・生徒が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート） 保護者が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート）
国等の動向社会的背景 (機会) (O)	社会的な問題 (脅威) (T)									
<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代にふさわしい教育の一体的改革 学習指導要領の一部改正 ICTを活用した教育の推進 イノベーション創出、グローバル化を担う人材育成 持続可能な開発のための教育（ED）の取組 様々な挑戦を可能とする環境の整備 小中一貫教育をはじめとした学制改革 幼児教育の無償化に向けた段階的取組など、家庭の教育費負担軽減 教員の働き方改革 貧困の連鎖を断つための教育機会の確保 地方創生と地域における多様な人材の参画 学びの場を拠点とした地域の活性化 学校を核とした地域との連携・協働による取組 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化・高齢化による社会活力の低下 厳しさを増す経済環境と知識基盤社会への移行 雇用環境の変容 社会のつながりの希薄化など 格差の再生産・固定化 地球規模の課題への対応 <p>※上記の危機を放置すれば、人口減少、経済成長力の低下、財政の悪化、雇用不安や格差拡大による社会の不安定化、社会保障への悪影響など負の連鎖が加速し、早晚我が国社会が衰退の一途をたどることは免れない。</p>									
充実していることや方針 (強み) (S)	不足または問題となっていること (弱み) (W)									
<ul style="list-style-type: none"> 豊島区の平成29年1月現在の人口は284,307人（対前年比1.3%増加、年々増加傾向）（データブック） 0～14歳人口24,855人（対前年比2.3%増）（8.74%）（データブック） 平成29年1月現在の外国人人口は27,060人（対前年比10.3%増加、年々増加傾向、外国人人口の割合9.52%、新宿区に次いで特別区内で2番目）（データブック） 地域区民ひろばの子育て世代を含む年齢層の登録率は4.2%と増加傾向（地域区民ひろば課）（データブック） 子どもスキップの利用状況は平成28年度で536,124人と年々増加（一般利用・学童クラブともに増加）（データブック） 子育て等に関する相談事業実績及びゆりかご・としま事業の利用者は増加傾向（データブック） 待機児童数は平成25年度で270人だったものが、年々減少し、平成29年度で0人（データブック） 小学校6年生の学力達成率（4教科平均）は平成28年度で86.5%と平成26年度と比べ17.7ポイント増加（データブック） 中学校3年生の学力達成率（5教科平均）は平成28年度で80.2%と平成26年度と比べ14.0ポイント増加（データブック） 読書が好きな児童・生徒の割合は、区立小学校・区立中学校ともに増加傾向となっており、約8割（データブック） 区立小・中学校の蔵所数は年々増加し平成28年度で271,949冊（データブック） としまコミュニティ大学受講者数は平成28年度で4,169人と増加傾向（データブック） 読み聞かせボランティアおはなし会実施回数及び参加者数は年々増加（データブック） 公立特別支援学校の在籍者は平成28年度現在で12,372人となっており、都の推計によると、平成40年度には15,204人と約1.2倍増加することが予測される（データブック） お子様の小学校での教育について「豊かな心や人間性」に重点を置いてほしいが約4割と最も高い（幼保護者アンケート） 今後の教育政策で重点的に取り組むべきことについて「話せる・使える英語のコミュニケーション能力を育成する」が5割半ばと最も高い（幼保護者アンケート） 学校と地域の連携について小学生・中学生ともに「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」が5割半ばと最も高い（小中保護者アンケート） 子どもスキップの「満足」と「やや満足」をあわせた「満足」は約8割（小学生）（小中保護者アンケート） 子ども・保護者・地域が集う学校」を実現できていると思うかについて「実現できている」と「だいたい実現できている」をあわせた「実現できている」が8割半ば（教員アンケート） 地域と連携した教育活動が盛んかについて「盛んである」と「どちらかと言えば盛んである」が8割半ば（教員アンケート） 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯は平成27年で母子世帯1,106、父子世帯100の計1,206世帯と微増傾向（データブック） 地域活動への参加意欲は32.8%と減少傾向（平成28年度シニア変身講座アンケート）（データブック） 中高生センターの利用者数は、中学生で16,772人、高校生で14,929人（平成28年度）と減少傾向（データブック） 不登校児童の出現率は平成27年度で0.35%と前年度と比較して増加（データブック） 不登校生徒の出現率は平成27年度で3.09%と前年度と比較して増加（データブック） 図書館の利用登録者、登録者中に占める豊島区民の割合ともに減少傾向（データブック） 現在の職務の状況について「常に忙しい」が6割半ばと最も高い（教員アンケート） 多忙感を感じる職務について「各種調査など事務関係の書類の処理」「校内分掌の事務」「会議の時間」の順に高くなっている（教員アンケート） 児童・生徒への「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標について「達成にはやや不十分であると感じる」の割合が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 子どもの話に耳と心を傾けることができているかについて「あまりできていない」と「できていない」をあわせた「できていない」が約1割（教員アンケート） 子どもたちに足りない道徳性について「希望や勇気をもち、困難や失敗を乗り越えること」の割合が約5割と最も高い（教員アンケート） 教員の研修で強化が必要だと思うことは「特別支援教育」が5割半ばと最も高い（教員アンケート） 児童・生徒が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート） 保護者が地域の行事や祭りなどに「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた「参加していない」が約3割（団体アンケート） 									
東京都教育ビジョン（第3次） (一部改定)（平成28年）										
<p>○教育の7つの柱</p> <p>『知』</p> <ol style="list-style-type: none"> 個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実 世界で活躍できる人材の育成 <p>『徳』</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会的自立を促す教育の推進 子供たちの健全な心を育む取組 <p>『体』</p> <p>身体を鍛え、健康に生活する力を培う</p> <p>『オリンピック・パラリンピック教育』</p> <ol style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック教育の推進 <p>『学校』</p> <ol style="list-style-type: none"> 教員の資質・能力を高める 質の高い教育環境を整える <p>『家庭』</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭の教育力向上を図る <p>『地域・社会』</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域・社会の教育力向上を図る 										
豊島区教育大綱（平成30年度）										
<p>重点施策Ⅰ 子供の未来を応援する対策</p> <ol style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習活動の推進 子どもスキップ事業の充実 多様なニーズに応える特別支援教育の充実 保護者負担の軽減 <p>重点施策Ⅱ 健やかな心と体の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 「特別の教科道徳」の推進 健康に関する教育の推進 いじめ未然防止・不登校解消対策の推進 <p>重点施策Ⅲ 幼児教育の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 幼児教育施策の横断的な展開 教育と保育の一体的提供 <p>重点施策Ⅳ 国際社会に生きる人材の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピック教育の推進 外国語活動・外国語教育の推進 多文化共生の取組 <p>重点施策Ⅴ 安全・安心な学校づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> インターナショナルセーフスクールの全校化 コミュニティ・スクールの導入 <p>重点施策Ⅵ 学校改革及び施設改修</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画的な学校改革 学校施設の長寿命化計画策定 学校トイレ緊急改善推進事業 <p>重点施策Ⅶ 教職員の働き方改革</p> <ol style="list-style-type: none"> 豊島区学校における働き方改革推進プランの策定 										

豊島区の地域特性及び基礎調査を踏まえた豊島区教育ビジョンの重点課題

【現状と課題】

【重点課題】



豊島区教育ビジョンの体系（案）

現行ビジョンとの対比版

「教育都市としま」
13の挑戦

挑戦4・5・8

- ・言語活動の充実
- ・理数教育の向上
- ・学力の定着と授業改善推進プラン
- ・教材整備計画の策定
- ・学校図書の実践
- ・グローバル化に対応した英語教育の充実
- ・豊島ふるさと学習の充実
- ・伝統・文化の教育
- ・情操教育の推進
- ・自然体験活動の充実
- ・ものづくり体験の推進
- ・人権教育
- ・道徳教育の充実
- ・健康教育の充実
- ・食育の推進
- ・生涯にわたって運動に親しむ態度の育成と体力向上
- ・防災・減災教育
- ・校内における人材育成の充実
- ・区内6大学との連携による教育活動の充実
- ・ボランティア体験活動の推進
- ・都市型環境教育

挑戦6・7

- ・生活指導の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・特別支援教育の就学相談の充実
- ・特別支援教育の施設及び人的支援に関する整備・充実
- ・カウンセリングの充実
- ・不登校未然防止と学校復帰等に向けた取組の充実
- ・スクールソーシャルワーカー

挑戦1

- ・秋田県能代市との教育連携
- ・研修体系と内容の充実
- ・教育研究校の推進
- ・指導教諭・授業づくり支援員の活用
- ・小規模校支援
- ・教育事務の点検・評価
- ・部活動指導者の外部人材の活用拡大
- ・キャリア教育

挑戦3・9

- ・教育の情報化に対応した学習の推進
- ・学校図書館の充実
- ・校務支援システム
- ・学校改築計画の推進
- ・既存校の計画的な改修
- ・教育の情報化

挑戦1・10・13

- ・幼・小・中の円滑な接続
- ・幼児教育の充実

学習指導の充実

新規（幼児教育検討部会）

- ・家庭支援ネットワークの確立
- ・日本後学習支援
- ・家庭教育の支援

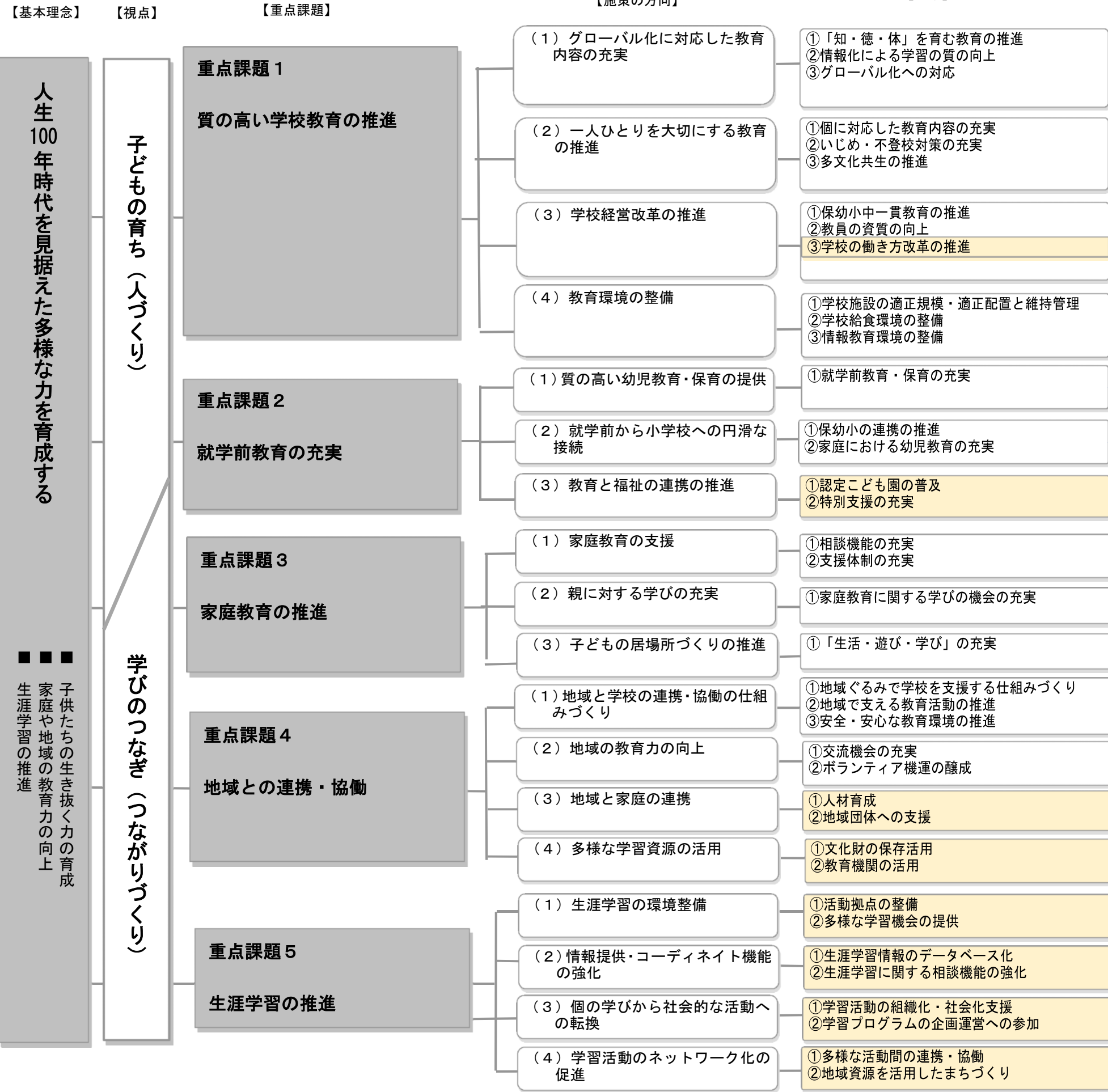
挑戦12

- ・放課後子ども教室の推進

挑戦2

- ・安全・安心な学校
- ・学校運営連絡協議会の充実
- ・教育力の活用

・新規（生涯学習推進計画など）



生涯学習の推進

子供たちの生き抜く力の育成
家庭や地域の教育力の向上

豊島区教育ビジョンの体系（案）

新ビジョンの事業例示版

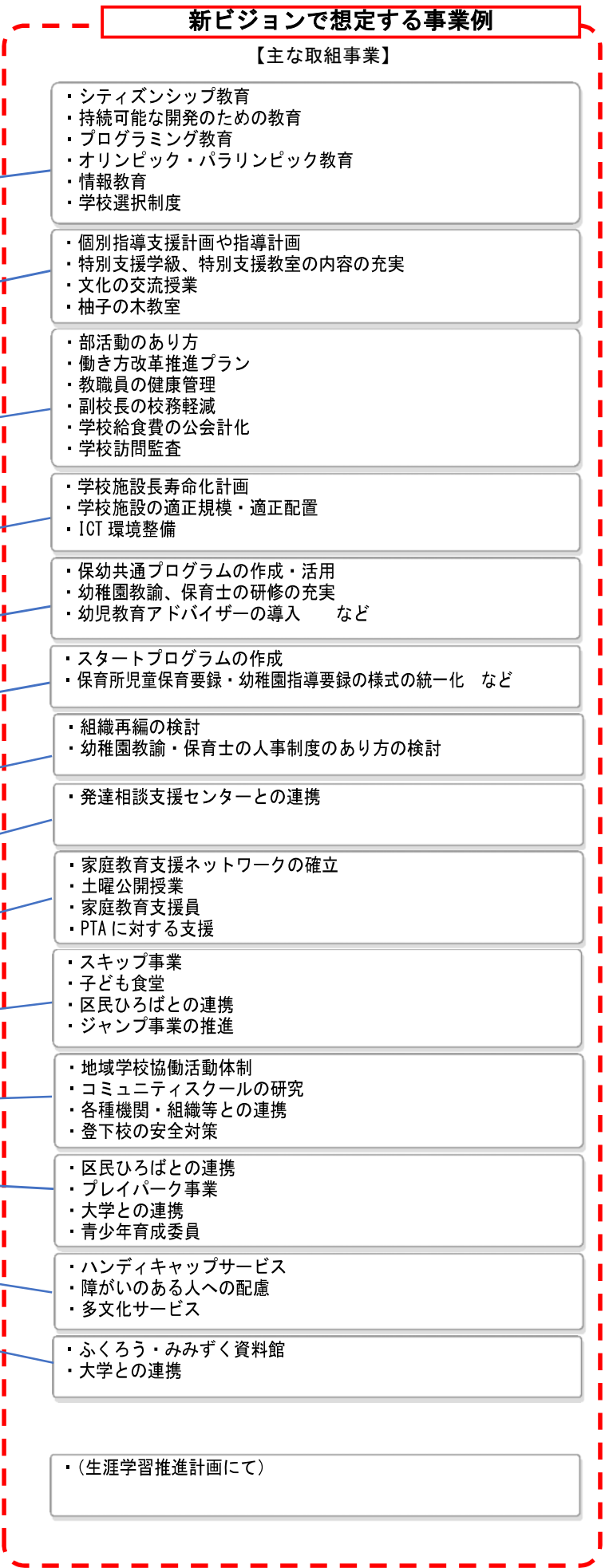
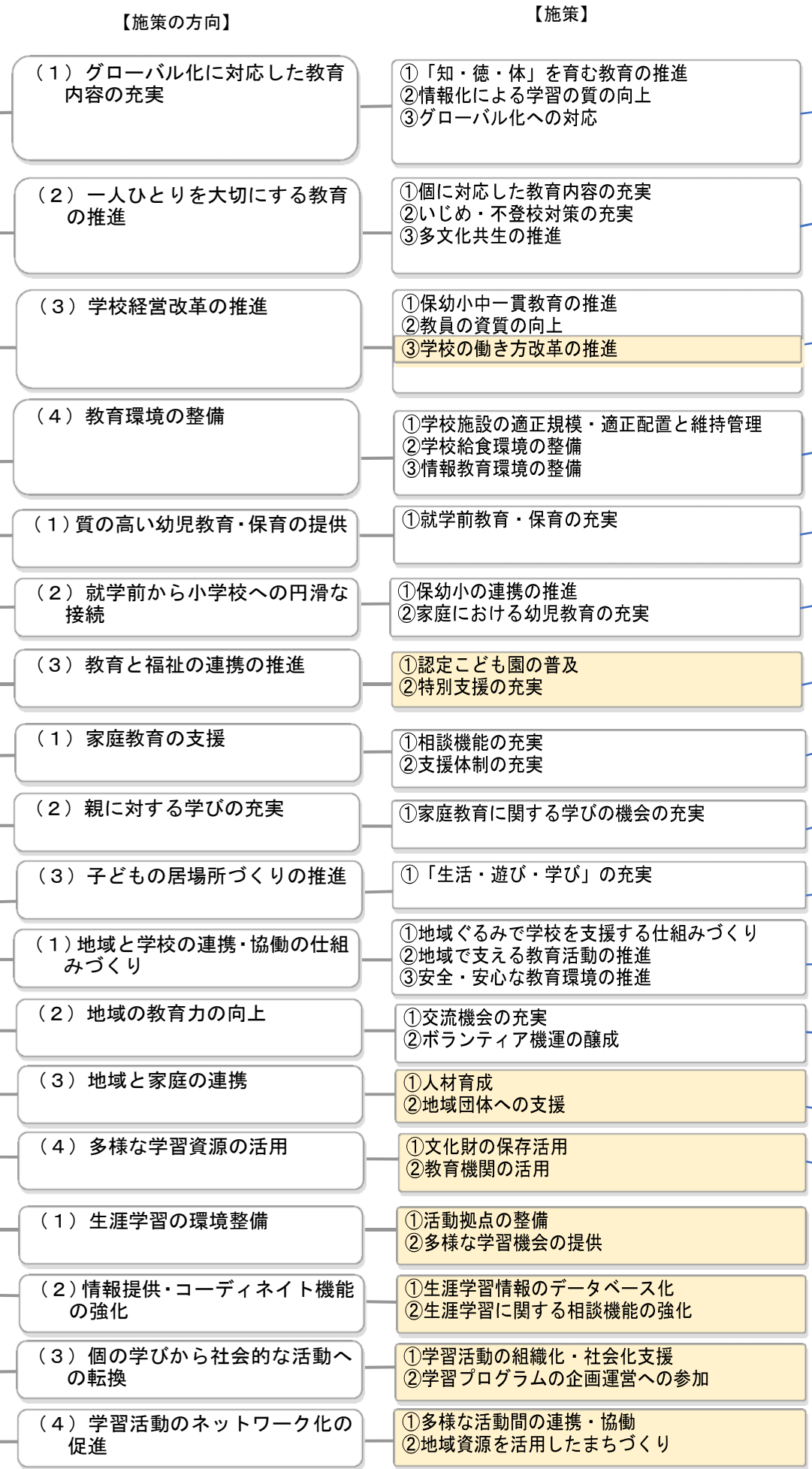
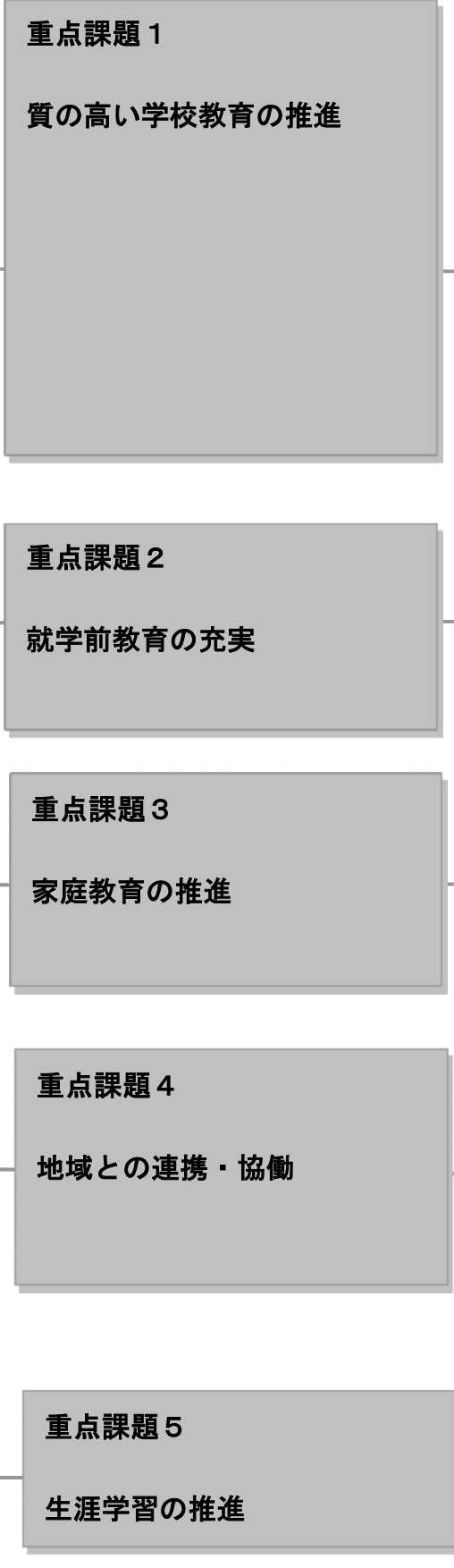
【基本理念】 【視点】 【重点課題】

人生100年時代を見据えた多様な力を育成する

生涯学習の推進
家庭や地域の教育力の向上
子供たちの生き抜く力の育成

子どもの育ち（人づくり）

学びのつながり（つながりづくり）



「豊島区教育ビジョン」の目次（案）

第1章	計画策定の背景	*
1	計画策定にあたって	*
2	豊島区の教育をとりまく動向	*
3	前計画のふりかえり	*
4	計画策定における課題	*
第2章	計画の基本的事項	*
1	計画の目的	*
2	計画の位置づけ	*
3	計画期間	*
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">今回の検討範囲</div>		
第3章	今後の豊島区の教育を推進すべき体系	*
1	計画の基本理念	*
2	計画の重点課題	*
3	計画の体系	*
第4章	施策・事業の展開	*
重点課題1	質の高い学校教育の推進	*
重点課題2	就学前教育の充実	*
重点課題3	家庭教育の充実	*
重点課題4	地域との連携・協働	*
重点課題5	生涯学習の推進	*
第5章	豊島区教育計画の推進に向けて	*
1	計画実施に向けた推進体制の強化	*
2	計画の進行管理	*
資料編	*
1	用語解説	*
2	豊島区教育ビジョン検討委員会等開催経過	*
3	豊島区教育ビジョン検討委員会委員名簿	*
4	豊島区教育ビジョン検討委員会設置要綱	*

学ばせたい 通わせたい「教育都市としま」13の挑戦

〈豊島区立幼稚園・小中学校教育の優位性・先進性を発揮〉

- 挑戦 1：** 学校間の接続に着目した幼小中一貫教育連携プログラムを実践し、学びと育ちの連続性を促す。
- 挑戦 2：** インターナショナル・セーフコミュニティ（ISC）と共にインターナショナル・セーフスクール（ISS）の国際認証の8校取得と、中学校ブロック連携型のISS全校化を推進する。
- 挑戦 3：** 全校学校図書館司書配置や蔵書の有効活用、学校図書館の学習情報センター化等、学びの拠点として主体的・対話的で深い学びを促す環境づくりを進める。
- 挑戦 4：** 実践的教育研究（研究推進校、奨励校等）やOJT、能代市との教育連携を通して、教員の指導力向上と授業改善を果たし、「豊島教員ミニマム」「豊島の子七か条」の浸透及び充実を図る。
- 挑戦 5：** 東アジア文化都市2019豊島の交流事業に参加するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック教育とレガシー教育を推進する。
- 挑戦 6：** いじめ、不登校、問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応に組織を挙げて取り組み、引きこもりや不登校対策として「ゆずスマイル教室」を実施し、児童生徒の再チャレンジの機会を創出する。
- 挑戦 7：** 小学校での巡回指導の定着及び中学校での準備を促進させ、自閉症や情緒障害も含む児童等の個に応じた特別支援教育を推進する。
- 挑戦 8：** 区独自の健康教育として、がん教育、歯と口腔衛生の教育、骨密度の測定と基本的な生活習慣の確立等、専門家の協力・支援を得ながら先進的な命と健康の教育を推進する。
- 挑戦 9：** 計画的な学校改築、学校改修、全校トイレの洋式・温水洗浄機能付き便座化（3年次）を完遂させると同時に、学校施設の長寿命化改修計画を策定する。
- 挑戦 10：** 幼稚園の預かり保育、道徳性育成、うきうき活動等特別支援教育の充実、「としま GOOD START プロジェクト」で示された「豊島区アプローチ・スタートカリキュラム」の実践を公私・幼保の垣根を越えて推進する。

〈次代を先取りする学校経営戦略を貫く〉

- 挑戦 11：** 学校経営方針・教育課程・年間計画の作成に当たっては、豊島区教育大綱との関連性を明確にする。
- 挑戦 12：** 子どもスキップ事業の充実のため、スクール・スキップ・サポーターの活用を図るとともに、学校運営協議会等、学校と地域と連携し、地域に開かれた教育課程やチーム学校の基盤整備を進める。
- 挑戦 13：** 発信する教育委員会・学校として、諸策の展開に当たっては、統計データの活用と見える化、多様性や柔軟性のある教育のユニバーサルデザイン化に努める。